

ブース番号	1
出展者名	日本甜菜製糖株式会社
キャッチフレーズ	北海道で元気に育ったてん菜から、甘さと健康を一緒に！
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>てん菜からの砂糖製造を軸とし、昨年100周年を迎え新たなステージに。生活になくなくてはならない天然の甘味料お砂糖と第2の脳と言われる腸で活躍するてん菜やお砂糖からのオリゴ糖も製造する。また、パンをつくるには必需品である酵母の製造もかなりの歴史があり、北海道十勝地方の水の綺麗な清水町で製造する生酵母やドライ酵母は、全国の企業やお客様にご愛顧頂いております。</p>
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道オホーツク産の癖になる含蜜糖に2種類のオリゴ糖（ラフィノースとDFAⅢ）とカルシウムを配合したサプリメントシュガー「北海道ビートなシュガープラス」</li> <li>・北海道のてん菜糖蜜を原料にしたコクのある味わい深いフラクトオリゴ糖シロップ「北海道どさんこオリゴ」</li> <li>・北海道 十勝 清水町の清水公園に生育するエゾヤマ桜のサクランボを分離源とする野生酵母「とち野酵母」は酵母臭が少なく、小麦など使用素材を引き立たせる酵母です。</li> </ul>
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p>
連絡先住所	●〒108-0073 東京都港区三田三丁目12番14号
電話、E-メール	●Tel：03-6414-5535 ●E-mail：
Fax、URL	●Fax：03-4531-8101 ●URL：https://www.nitten.co.jp/

ブース番号	2
出展者名	ベジヨー・ジャパン株式会社
キャッチフレーズ	Explorinbg nature never stops
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>弊社は、オランダが本拠地のBejoグループの一員として、2012年に設立されました。露地で栽培する野菜、特にタマネギなどのネギ族、ニンジンなどのセリ科、キャベツやブロッコリなどのアブラナ科野菜に強みを持つ種苗会社、タネの会社です。2016年から本社を札幌市に移し、北海道の各地で積極的に品種開発を進めております。</p>
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>現在、北海道マーケットに向けて、以下の作物について、特に加工用途にフォーカスして品種開発を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニンジン；</li> <li>・キャベツ；</li> <li>・タマネギ；</li> </ul> <p>また、アスパラガスにおいては北海道大学、新潟食料農業大学と共同研究を行い、北海道のみならず国内の各産地の栽培環境、作型に適した品種の開発を進めています。最近では、今後北海道で伸びる可能性があるレッド・ビート（ビーツ、あるいはテーブル・ビート）について、現在発売に向けた最終試験を行っており、近々拡大試作を開始する予定です。</p>
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>道内の生産者、生産法人、露地野菜の青果流通業者、野菜加工会社、食品会社、飲料製造会社様方とのマッチングを希望いたします。</p>
連絡先住所	●〒001-0021 札幌市北区北21条西12-2北大ビジネス・スプリング1階
電話、E-メール	●Tel：011 776 6834 ●E-mail：info@bejo.jp
Fax、URL	●Fax：011 776 6835 ●URL：

ブース番号	3
出展者名	株式会社植物育種研究所
キャッチフレーズ	タマネギの新たなる挑戦
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>① おいしく食べて健康になるタマネギの開発 ② 辛くない・涙の出ないタマネギの開発</p>
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>①機能性タマネギ「さらさらレッド」「さらさらゴールド」 ②涙の出ない・辛くないタマネギ「スマイルボール」</p>
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>生産、流通</p>
連絡先住所	●〒069-1511 夕張郡栗山町中央2丁目45番地
電話、E-メール	●Tel：0123-72-5680 ●E-mail：info@ikushu.com
Fax、URL	●Fax：0123-76-9191 ●URL：https://sarasara-red.com

ブース番号	4
出展者名	株式会社 大地のMEGUMI
キャッチフレーズ	「安心」「安全」「おいしい」野菜をお届けします。
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学合成農薬・化学肥料を不使用する野菜生産を行い、皆様に安心、安全をご提供しています。</li> <li>・冷凍加工食品の開発にも携わり、こだわりをもった商品をご提案しています。</li> <li>・食育事業を積極的に行い、お子様の育成に携わっています。</li> <li>・地域の方々との交流を大切に、イベント等を開催しています。</li> </ul>
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別栽培馬鈴薯キタアカリ、カボチャをお餅のような食感に仕上げたいも餅、かぼちゃ餅は、畑の輝きともいえる当社イチオシの商品。商品名にはそんな思いを込めて「大地の輝餅」といたしました。</li> <li>・地元加工会社様と相談を重ね、何度も試作を行い納得のいく商品になるまで綿密に開発を行いました。</li> <li>・一番のPRは使用している原料の安心、安全面です。食事は毎日のことであるため、ちいさなお子様にも安心して食べて頂けます。</li> <li>・冷めても食味を失わずらいため、お弁当などにもご使用いただけます。</li> </ul>
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>全国道の駅様、スーパーマーケット様、百貨店様、飲食店関係様</p>
連絡先住所	●〒0699-2383 北海道網走郡大空町女満別日進306-4
電話、E-メール	●Tel：0152-74-3020 ●E-mail：otoiawase@daichinomegumi.netg
Fax、URL	●Fax：0152-74-3181 ●URL：

ブース番号	5	
出展者名	北海道アロニア研究会	
キャッチフレーズ	アロニアはアントシアニンの含有量が極めて多く、スーパーフードとして注目され、また機能性成分の多さから健康効果の研究発表が多く、メディカルフードとも言われている。	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>1. アロニアの研究と普及活動 2. アロニアを利用した商品の開発と販売支援</p>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>1. アロニアの果実・果汁・粉体を利用した商品の開発と販売</p>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>食品の製造・販売関連の方</p>	
連絡先住所	●〒063-0001 札幌市西区山の手1-5-5-6	
電話、E-メール	●Tel：011-631-6500	●E-mail：tk1012_hayashi@ninus.ocn.ne.jp
Fax、URL	●Fax：011-631-6500	●URL：

ブース番号	6	
出展者名	シーベリー研究会	
キャッチフレーズ	高機能性小果樹シーベリーの紹介 小果実の製品を試食してみよう	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>①高機能性のオレンジ色のシーベリーの紹介 ②おいしい製品の紹介</p>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしく頂く機能性豊かなジャム</li> <li>・健康ドリンク「飲むんで酔」</li> <li>・相性抜群ヨーグルト、振って飲むヨーグルト</li> </ul>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>食品工業分野</p>	
連絡先住所	●〒046-0004 余市町大川町19丁目3-2	
電話、E-メール	●Tel：090-7644-0948	●E-mail：hoppoberry@yahoo.co.jp
Fax、URL	●Fax：050-7566-0948	●URL：http://www13.plala.or.jp/hoppoberry/

ブース番号	7	
出展者名	北竜ひまわりライス生産組合	
キャッチフレーズ	安全だから安心できるお米をお届け「北竜ひまわりライス」	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>①町内全域での農薬節減米へのとりくみ          ②生産情報公表JASへの取組          ③第46回 日本農業賞 集団組織の部「大賞」受賞</p>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>①農薬50%カットの農薬節減米          ②トレーサビリティが完成された、生産情報公表JASのお米</p>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>お米の販売</p>	
連絡先住所	●〒078-2512 雨竜郡北竜町字和36番地3	
電話、E-メール	●Tel：0164-34-2211	●E-mail：
Fax、URL	●Fax：0164-34-2216	●URL：http://www.hokuryu-mai.com/

ブース番号	8	
出展者名	(株) YSE	
キャッチフレーズ	低コストで鉄骨レベルの強度と耐久性に優れた大型ビニールパイプハウス	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>・48.6ミリの単管パイプを自社で加工して最大間口18mの大型ビニールパイプを施工</p>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>・屋根が切妻型なので豪雪地帯でも通年で使用が可能          ・設計の自由度が高くお客様の要望にお答えできる          ・鉄骨倉庫に比べて建築費が半以下に</p>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>・農業関係 ・建築関係 ・自動車整備関係</p>	
連絡先住所	●〒064-0821 札幌市中央区北1条西25丁目1番25号	
電話、E-メール	●Tel：011-633-1101	●E-mail：info@y-s-e.com
Fax、URL	●Fax：011-633-1102	●URL：http://www.y-s-e.com



ブース番号	9	
出展者名	株式会社NERC	
キャッチフレーズ	SDGsー食べる人にも、作る人にも、環境にも優しい、持続可能な農業を！	
■事業内容	■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい） 深層地中加熱技術の紹介	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい） ①農業ハウスで冬の収穫が可能になる。②ハウス内暖房燃料費の削減。③農業の入らない土壌消毒。④消化液の利用で化学肥料不要。⑤安全・安心な農作業と食料提供	
■連携・マッチング	■連携・マッチング（相談を希望する分野） 農業者、農業法人、農業団体	
連絡先住所	●〒060-0004 札幌市中央区北4条西16丁目1番地 第1ビル9階	
電話、E-メール	●Tel：011-644-7330	●E-mail：nerc@nerc.co.jp
Fax、URL	●Fax：011-644-7335	●URL：http://www.nerc.co.jp/

ブース番号	10	
出展者名	北一化学(株)	
キャッチフレーズ	環境に配慮したモノづくり	
■事業内容	■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい） ①北海道の農業・水産業などの包装分野において活用できる、機能性フィルムの提案。 ②生分解性フィルムなど、環境に配慮した製品の提案。	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい） ①北海道で唯一の生分解フィルム製造メーカー ②グリーンポリエチレン（植物由来）、鮮度保持フィルム、高強度フィルムなど、機能性に富み、更には環境に配慮した製品の提案。	
■連携・マッチング	■連携・マッチング（相談を希望する分野） 農業関係・水産業関係・食品加工業関係・物流関係・商社	
連絡先住所	●〒047-0261 小樽市銭函3丁目503-10	
電話、E-メール	●Tel：0134-62-7181	●E-mail：
Fax、URL	●Fax：0134-62-6452	●URL：http://www.ube-ind.co.jp/kcc

ブース番号	11
出展者名	北海道大学ロバスト 農林水産工学国際連携研究教育拠点
キャッチフレーズ	ロバストネス社会を築く
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（簡条書きでお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな農林水産工学を創造するためのオープンイノベーション型のプラットフォームを活用した研究会、セミナー、シンポジウムの開催</li> <li>・コンソーシアム形成に向けた相談、支援</li> <li>・異分野連携による科学研究費や国プロジェクト等共同申請の推進</li> <li>・北海道をフィールドとした農林水産業のロバスト化のための研究戦略、研究計画の策定</li> <li>・北大農場に設置した温室を活用した分野横断型の実証試験と成果の社会還元</li> <li>・共同研究を通じた新たな農林水産工学人材の育成（PBL重視型博士人材育成）、社会人の学び直しの支援</li> <li>・研究成果等の情報発信及び新たなプラットフォーム会員の勧誘</li> </ul>
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（簡条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ロボット農機による農業の自動化・大規模化</li> <li>●センサー、衛星等を駆使した生産支援</li> <li>●ビッグデータとAIを活用した生産企画</li> <li>●安全で負担の軽い労働環境の実現</li> <li>●寒冷地でも生産性や品質を向上させる育種・栽培・管理方法</li> <li>●販路拡大や競争力強化する鮮度保持・食品加工技術</li> <li>●バイオマスを活用した高付加価値製品の生産</li> <li>●生産性向上に資する新素材・迅速分析法等の開発</li> <li>●農林水産工学の幅広い技術分野を俯瞰的に理解・活用できる人材育成</li> </ul>
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>研究機関、加工業、生産業、商社、情報通信、化学関連、宇宙開発等</p>
連絡先住所	●〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
電話、E-メール	●Tel : 011-706-6741 ●E-mail : robust@eng.hokudai.ac.jp
Fax、URL	●Fax : 011-706-7589 ●URL : <a href="https://www.eng.hokudai.ac.jp/others/robust/">https://www.eng.hokudai.ac.jp/others/robust/</a>

ブース番号	12
出展者名	国立大学法人北見工業大学
キャッチフレーズ	自然と調和するテクノロジーの発展を目指して
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（簡条書きでお書き下さい）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①オホーツク地域の主産業は第1次産業である。北見工業大学では、第1次産業への工学の貢献を目的とした教育・研究を展開している。</li> <li>②また、地域資源を活用した高付加価値商品の開発やそれら商品の活用による市内事業所の売上げ拡大と雇用創出への支援を行っている。</li> </ol>
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（簡条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①北見工業大学は2018年7月に「オホーツク農林水産工学連携研究推進センター」を設置し、地域の第一次産業のニーズに対する工学的支援を展開</li> <li>②産業クラスターオホーツクとの連携による北海道及び北見市の花、ハマナスの香りの商品化</li> </ol>
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>農林漁業経営体（個人・法人）、製造業、小売業、マスコミ、建設・不動産業、大学・研究機関、官公庁、支援機関・支援団体</p>
連絡先住所	●〒090-8507 北海道北見市公園町165番地
電話、E-メール	●Tel : 0157-26-9153 ●E-mail : kenkyu10@desk.kitami-it.ac.jp
Fax、URL	●Fax : 0157-26-9155 ●URL : <a href="http://www.kitami-it.ac.jp">http://www.kitami-it.ac.jp</a>

ブース番号	13	
出展者名	オホーツク機能性大麦推進協議会 未来を考える戦略センター (東京農業大学 生物生産学部)	
キャッチフレーズ	地域住民自らが、地域活性化の戦略を考案・実施する	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント(箇条書きでお書き下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会設立の経緯</li> <li>・協議会の具体的活動内容の紹介 → オホーツク食材(もち麦など)を軸とした活動</li> </ul>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR(箇条書きでいくつでもお書き下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の「知」、各業界者の「知」、大学の「知」の集積・発信するための仕組みづくりをめざしている</li> </ul>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング(相談を希望する分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集積した「知」の発信として、都市部の企業・飲食店等との連携を希望します。</li> </ul>	
連絡先住所	●〒099-2493 北海道網走市八坂196東京農業大学	
電話、E-メール	●Tel: 0152-48-3882	●E-mail:
Fax、URL	●Fax: なし	●URL: なし

ブース番号	14	
出展者名	北海道立総合研究機構 食品加工研究センター	
キャッチフレーズ	地元の乳酸菌を利用します	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント(箇条書きでお書き下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弊所で分離した、香り成分(ジアセチル)を多く生成する乳酸菌の研究成果の紹介</li> <li>・弊所で分離したふらの熟成乳酸菌の紹介</li> <li>・外部資金研究の成果で特許出願した乳酸菌、そのカタログ等の紹介</li> </ul>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR(箇条書きでいくつでもお書き下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香り成分を多く生成する乳酸菌は発酵バターやクリームチーズで利用可能です</li> <li>・ふらの熟成乳酸菌は現在富良野チーズ工房で引き続き熟成試験中です</li> <li>・特許出願した乳酸菌については今後道内チーズ工房で使ってもらうための試作などを行います</li> </ul>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング(相談を希望する分野)</p> <p>乳製品製造企業、チーズ工房</p>	
連絡先住所	●〒069-0836 江別市文京台緑町589番地4	
電話、E-メール	●Tel: 011-387-4116	●E-mail: food-shien@hro.or.jp
Fax、URL	●Fax: 011-387-4664	●URL: <a href="http://www.hro.or.jp/list/industrial/research/food/">http://www.hro.or.jp/list/industrial/research/food/</a>

ブース番号	15-1	
出展者名	北海道立総合研究機構 農業研究本部 (上川農業試験場)	
キャッチフレーズ	未来の米作りを支える新品種「えみまる」	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント(箇条書きでお書き下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稲新品種「えみまる」の紹介</li> </ul>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR(箇条書きでいくつでもお書き下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に北海道有料品種に認定</li> <li>・生産現場の問題点である「労働力不足」に効果的</li> <li>・省力的な直播栽培に最適</li> <li>・食味は「ななつぼし」並で幅広い用途に対応</li> </ul>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング(相談を希望する分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者(生産者)</li> <li>・食品加工</li> </ul>	
連絡先住所	●〒078-0397 北海道上川郡比布町南1線5号 上川農業試験場 研究部 水稲グループ	
電話、E-メール	●Tel : 0166-58-4115	●E-mail : kamikawa-agri@hro.or.jp
Fax、URL	●Fax : 0166-85-4111	●URL : <a href="https://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/kamikawa/index.html">https://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/kamikawa/index.html</a>

ブース番号	15-2	
出展者名	北海道立総合研究機構 農業研究本部 (畜産試験場)	
キャッチフレーズ	高品質な地鶏肉として評価を得た北海地鶏Ⅱを改良した「北海地鶏Ⅲ」を開発しました。	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント(箇条書きでお書き下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海地鶏Ⅲ」は、高品質な地鶏肉として評価を得た北海地鶏Ⅱを改良し、適度な「歯ごたえ」と「うま味」を保ちつつ、産肉性が向上しています。</li> </ul>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR(箇条書きでいくつでもお書き下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海地鶏Ⅲ」は、高品質な地鶏肉として評価を得た北海地鶏Ⅱより飼養期間が短縮され、肉の歯ごたえやうまみ成分はブロイラーより優れています。</li> </ul>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング(相談を希望する分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者(生産者)</li> <li>・食品加工</li> <li>・飲食店</li> </ul>	
連絡先住所	●〒081-0038 北海道上川郡新得町字新得西5線39番地1 畜産試験場 中小家畜グループ	
電話、E-メール	●Tel : 0156-64-0612	●E-mail :
Fax、URL	●Fax : 0156-64-5349	●URL : <a href="https://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/sintoku/tyusyou/index.html">https://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/sintoku/tyusyou/index.html</a>



ブース番号	16	
出展者名	農研機構 北海道農業研究センター・種苗管理センター	
キャッチフレーズ	農研機構は、みなさまと共に食と農の未来を創ります	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>①北海道農業研究センターは、北海道の水田・畑作・畜産を中心とした研究をすすめています。</p> <p>②種苗管理センターではばれいしょ及びさとうきびの増殖起点となる健全無病な原原種(元だね)を安定的に生産・供給しています。</p>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>「さんさんまる（水稲）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆめぴりか」「おぼろづき」と同じ低アミロース性により炊飯米は粘りが強く、柔らかいです。</li> <li>・食味は「ゆめぴりか」「ななつぼし」の特Aクラスに匹敵します。</li> <li>・熟期が早い、耐倒伏に優れる短稈性など、直播栽培に適し、低コスト・大規模化に対応可能です。</li> <li>・消費者、生産者の両者にメリットのある品種です！</li> </ul> <p>「雪ごぜん（水稲）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外食・中食向けのいわゆる業務用米品種です。</li> <li>・収量性が高く「きらら397」より10%以上多収が期待できます。</li> <li>・耐冷性が高く、安定的な収量性が見込めます。</li> <li>・玄米品質に優れ、炊飯米は白く、見栄えが良いのが特長です。</li> <li>・精米中の高アミロース含有量が高く、タンパク質含有量が高いため、炊飯米のさばけが良く、酢飯、丼もの等に適性があり、食味も「きらら397」と同等と評価されています。</li> </ul> <p>「ばれいしょの新品種について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新品種のほとんどは種苗管理センターが原原種として「増殖」しています。</li> <li>・現在、「男爵薯」、「メークイン」のほかにも用途別に様々な品種が生産・供給されています。</li> </ul>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>品種、技術をご利用いただける企業</p>	
連絡先住所	●〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1	
電話、E-メール	●Tel：011-857-9414	●E-mail：
Fax、URL	●Fax：011-859-2178	●URL： <a href="http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/harc/index">http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/harc/index</a>

ブース番号	17
出展者名	株式会社 アジア地域連携研究所
キャッチフレーズ	農家の目線でGAP支援システムの開発を目指す
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農場におけるGAP（農業生産工程管理）の取り組みの意義</li> <li>・GAP認証取得のメリット</li> <li>・G-CAS（GAP支援システム）の概要と特徴</li> <li>・G-CASの機能</li> </ul>
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつもお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・G-CAS（GAP支援システム）は、開発に当たって農家の意見を積極的に取り入れました。</li> <li>・GAP認証制度は、GlobalGAPやJGAP,AsiaGAPなどがありますが、G-CASはどのGAPでも使えます。</li> <li>・G-CASは、農協の作物別部会の事務局などで会員農家の作付記録などの管理にも使え、業務の効率化を図れます。</li> <li>・使用料も月1100円と安くなっています。</li> </ul>
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GAP認証取得済みまたは予定の農場（個人、法人）</li> <li>・この分野に関心のあるソフト開発会社および農業資材販売会社</li> </ul>
連絡先住所	●〒006-0806 札幌市北区北6条西6丁目2番11第3山崎ビル3階
電話、E-メール	●Tel：011(299)1040 090-1382-1196（担当：中村） <span style="float: right;">●E-mail：main@asiren.jp</span>
Fax、URL	●Fax：011(700)1011 <span style="float: right;">●URL：asiren.jp</span>

ブース番号	18
出展者名	（公財）北農会
キャッチフレーズ	北農会は、北海道内の農業関係試験研究機関と密接な連携を保ち、試験研究成果の普及を図ると共に、試験・研究・調査などを推進して、北海道農業の発展に寄与することを目的としています。
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①機関誌「北農」の刊行。内容は提言、試験成績、技術普及・普及活動事例、作況・注意すべき病害虫など。</li> <li>②「北農」登載で普及上優秀なものの、試験研究業務の推進に貢献したものに対する表彰（北農賞）、北海道において農業経営等で顕著な成績をあげたものに対する表彰（安孫子賞）</li> <li>③有機農産物等及び生産情報公表農産物の登録認証機関として、生産行程管理者等の検査・認証業務</li> </ol>
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつもお書き下さい）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①機関誌「北農」は昭和9年に創刊され、現在、年に4号を発行しており、これまで776号を発行した。</li> <li>②北農賞は、昭和15年第1回から令和元年第80回まで187件を表彰した。安孫子賞は、昭和35年第1回から令和元年第60回まで128組の農家等を表彰した。</li> <li>③有機農産物生産行程管理者などは、平成18年度からこれまで、92機関を認証した。</li> </ol>
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p>
連絡先住所	●（公財）北農会 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目1 カミヤマビル5F ●（公財）北農会 有機農産物検査・認証センター 〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目10 ピア2・1 5F
電話、E-メール	●（公財）北農会 Tel：011-251-3325 ●（公財）北農会 有機農産物検査・認証センター Tel：011-242-2285 <span style="float: right;">●E-mail：hokunou@vega.ocn.ne.jp</span> <span style="float: right;">●E-mail：hoicc@feel.ocn.ne.jp</span>
Fax、URL	●（公財）北農会 Fax：011-251-3325 ●（公財）北農会 有機農産物検査・認証センター Fax：011-242-2285 <span style="float: right;">●URL：http://www.hokunoukai.com</span> <span style="float: right;">●URL：http://www.hokunoukai.com</span>

ブース番号	19	
出展者名	NPO法人グリーンテクノバンク	
キャッチフレーズ	農林水産省の委託事業「「知」の集積による産学連携推進事業」を受託して、広範な産学連携支援を行っています。	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>①農林水産省の競争的研究資金「イノベーション創出強化研究推進事業」の北海道における相談窓口指定され、多くの実績を上げています。  ②マッチングを希望する企業などへのコーディネート支援活動をおこなっております。  ③道内の6大学・研究機関、1金融機関と連携協定を締結して、農・林・食関連研究の連携を密にしています。</p>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>①NPO法人グリーンテクノバンクの活動について、北海道内で実施した産学連携活動内容を紹介。</p>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>企業、大学、研究機関、地域の産学連携支援機関等</p>	
連絡先住所	●〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目10番地 ピア2・1 5階	
電話、E-メール	●Tel：011-210-4477	●E-mail：gtbh@gtbh.jp
Fax、URL	●Fax：011-210-4477	●URL：http://www.gtbh.jp/

ブース番号	20	
出展者名	農林水産省 北海道農政事務所	
キャッチフレーズ	輸出に取り組んでみませんか？ 魅力ある北海道の農林水産物・食品を世界にアピール	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <p>北海道には魅力的な農林水産物や食品があり、海外にも多くの産品を輸出しています。北海道から海外に輸出している産品の紹介と「GFP農林水産物・食品輸出プロジェクト」に基づく「グローバル産地づくり強化対策」についてご紹介いたします。</p>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>平成30年8月に、農林水産省において、GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）を立ち上げたところであり、農林水産物・食品の輸出を更に拡大していくためには、海外から求められる品質・コスト・ロットでの生産や海外の規制等に対応した産地「グローバル産地」の形成が必要となります。全国で、GFPグローバル産地づくり推進事業を行っている63事業者のうち、北海道は6事業者あり、ながいも、米、にんにく、牛肉、かぼちゃを輸出に向けて取り組んでおります。 また、衛生管理の手法であるHACCP等の認証を取得し輸出に取り組む事業者の事例を紹介いたします。</p>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>特になし</p>	
連絡先住所	●〒064-8518 札幌市中央区南22条西6丁目2-22 エムズ南22条第2ビル	
電話、E-メール	●Tel：011-330-8810	●E-mail：yusyutsusokushin@maff.go.jp
Fax、URL	●Fax：011-520-3063	●URL：https://www.maff.go.jp/hokkaido/



ブース番号	21	
出展者名	北海道帯広農業高等学校	
キャッチフレーズ	十勝の農業資源でフレイル対策 ～濃厚で栄養価の高い機能性調製豆乳の開発～	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル対策として吸収率の高い植物性タンパク質を多く含む豆乳飲料を開発。</li> <li>・整腸効果やアレルギー改善が期待できるてん菜オリゴ糖「ラフィノース」含有で、北海道独自の機能性表示制度「ヘルシーDo」認証を目指す。</li> <li>・高校生が考えた商品を地元企業で製造・販売（事業化）することで、多くの消費者に届けることを目指す。</li> </ul>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産・学・官・金融の4者連携で商品開発。</li> <li>・十勝産大豆を100%使用した調整豆乳。</li> <li>・3種類のオリゴ糖「ラフィノース」「ビートオリゴ」「十勝フラクトオリゴ」を使用し、奥行きのある優しい甘味と食品機能性を実現。</li> <li>・ヘルシーDo申請にあたり、食品機能性成分「ラフィノース」含有量を日本甜菜製糖(株)の協力を得て、高校生が分析。（HPLC：高速液体クロマトグラフィー法）</li> <li>・「BASE」を利用し、インターネット販売を実施。</li> <li>・商品名「マメトベ十」の由来について。マメトベはアイヌ語で豆乳を意味し、北海道の商品らしさとアイヌ語独特の柔らかい響きから体に優しいイメージを消費者に持ってもらうことを期待。アイヌ語の使用については、中田食品様より北海道アイヌ協会の方と相談の上進めた。プラスは「ラフィノース」により食品機能性が付加されていることを表現。</li> </ul>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品評価</li> <li>・販路開拓</li> </ul>	
連絡先住所	●〒080-0834 北海道帯広市稲田町西1線9番地	
電話、E-メール	●Tel：0155-48-2102	●E-mail：
Fax、URL	●Fax：0155-48-3052	●URL：http://www.obino.hokkaido-c.ed.jp/

ブース番号	22	
出展者名	北海道旭川農業高等学校	
キャッチフレーズ	旭川の米粉を食べよう！（地域農産物とのコラボ）	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米を粉にして食べる食文化の発信</li> <li>・旭川の多彩な農産物をPR（地域農産物をPRするための商品開発）</li> <li>・地域と連携した活動で旭川のひと・まち・しごとづくりの実践</li> </ul>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <p>お米の町旭川から新たな活用方法の提案に挑戦して11年になります。お米を粉末状の米粉として利用することで需要が減少しつつあるお米の新たな魅力にならないか研究を重ねています。</p> <p>①米粉クッキー（旭川米花クッキー） 米粉が持つ崩壊性や保水性、粘弾性、油の吸収率が低いという特長を生かしたクッキーを開発。さらに地域の特長である醸造文化を取り入れクッキーのなかに乾燥糶を入れることで食感にアクセントをつけました。</p> <p>②米粉クッキー（酒米粉の活用） コロナウィルスの影響により、日本酒の生産量が急減したことによって余剰となってしまう酒米の新たな活用方法を地元企業である男山酒造と共同で開発。酒米を粉末状にして活用することで用途の幅を広げられないか検討。現在は米粉クッキーへの応用を研究中。</p>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品評価</li> <li>・酒米に関わる成分分析調査協力</li> <li>・レシピ提供による販路拡大に向けた商品化</li> </ul>	
連絡先住所	●〒079-8431 北海道旭川市永山町13丁目153番地 北海道旭川農業高等学校	
電話、E-メール	●Tel：0166-48-2887	●E-mail：
Fax、URL	●Fax：0166-48-1360	●URL：



ブース番号	23	
出展者名	北海道岩見沢農業高等学校	
キャッチフレーズ	北海道におけるハウス構造の検討とバイオマスエネルギー等活用した野菜類周年利用技術の確立をめざします	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-大雪に強い単管ハウスの建設に向けた取組</li> <li>-厳寒期の北海道でバイオマスエネルギーを使用するための取組</li> <li>-大学や企業、工業高校との連携について</li> <li>-地域普及へ向けてのPR</li> </ul>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別豪雪地帯である岩見沢の厳冬期に化石燃料を使用せずに作物の栽培が出来る事は収益を上げ地域の活性化となる。</li> <li>・特別豪雪地帯である岩見沢の厳冬期に化石燃料を使用せずにビニールハウスを維持することができれば全道のモデルとなる。</li> <li>・たくさんの方々と連携・協働することによってキャリア能力を高めることができる。</li> <li>・これらの取組はSDG'Sに繋がる。</li> </ul>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境 ・農業 ・土木</li> </ul>	
連絡先住所	●〒068-0818 北海道岩見沢市並木町1番地5	
電話、E-メール	●Tel : 0126-22-0130	●E-mail :
Fax、URL	●Fax : 0126-22-5362	●URL : <a href="http://www.iwamizawanougyou.hokkaido-c.ed.jp/">http://www.iwamizawanougyou.hokkaido-c.ed.jp/</a>

ブース番号	24	
出展者名	市立札幌大通高等学校 ミツバチプロジェクト	
キャッチフレーズ	本校のミツバチプロジェクトでは、さまざまな教科で「ミツバチを教材」として活用しています。「環境やビジネス」をキーワードに、学校と地域社会との関係を密にすることを目指します。	
■事業内容	<p>■プレゼンテーションのポイント（箇条書きでお書き下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の授業で蜂を飼育している。</li> <li>・工芸の授業で巣箱作成やミツロウを使って道具づくりを行っている。</li> <li>・書道・美術の授業で、パッケージやラベルのデザインを学習している。</li> <li>・家庭科の授業で調理実習を行っている。</li> <li>・商業科の事業で販売の学習をしている。</li> <li>・生物部で研究活動結果を、高文連やミツバチサミットなどの発表会に報告している。</li> <li>・メディア局で養蜂活動の記録をブログやラジオ放送を通じて発信している。以上、多分野で活用しています。</li> </ul>	
■製品PR、技術PR、PRポイント等	<p>■製品PR、技術PR（箇条書きでいくつでもお書き下さい）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①非加熱の蜂蜜です。味や香りが季節によって変化するのがよく分かる、深い味わいです。</li> <li>②本校生徒やボランティア養蜂して集めた蜜で、都市養蜂ならではの正真正銘の百花蜜です。</li> <li>③ヘギイタダニ駆除を目的にシュウ酸燻蒸の道具を工夫して作りました。</li> <li>④越冬時の温度変化を抑えるために、保温箱を製作しました。さらにクーラー、ヒーターの制御をマイコンをプログラムして、0℃～3℃の間に温度管理できるよう工夫しました。</li> </ol>	
■連携・マッチング	<p>■連携・マッチング（相談を希望する分野）</p> <p>市内のホテルと包括連携協定を結んでいます。調理のアドバイスを受けたり、レストランで本校の蜂蜜をたべていただいています。</p>	
連絡先住所	●〒060-0002 札幌市中央区北2条西11丁目	
電話、E-メール	●Tel : 011-251-0229	●E-mail :
Fax、URL	●Fax : 011-261-1449	●URL : <a href="http://www.odori-h.sapporo-c.e.jp">http://www.odori-h.sapporo-c.e.jp</a>